



今年度は国語と数学・理科の3教科で実施されました。全体的には表にあるような結果となりました。結果が不十分などを中心、各教科で細かく分析し、以下のように考察しました。

国語

	A問題		B問題	
	県	国	県	国
全体	◎	◎	◎	◎
話す聞く	◎	◎	◎	◎
書く	◎	◎	◎	◎
読む	◎	◎	◎	◎
言語	◎	◎	◎	◎

(表の見方)
A問題…知識に関する問題
B問題…活用に関する問題

県や全国と比較し、本校の平均正答率が

- ◎…高い(2%≦◎)
- …少し高い(1%≦●<2%)
- …ほぼ同じ(-1%<○<1%)
- △…少し低い(-2%<△≦-1%)
- ×…低い(×≦-2%)

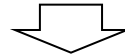


○よかったところ

- ・相手の話を聞き、適切にメモを取るなどして話し合いの話題や方向を捉えることができます。(A問題)
- ・伝えたい内容を検討し、段落相互の関係に注意して、読みやすく分かりやすい文章を書くことができます。(A問題)
- ・資料やグラフとの関係を考えながら文章の内容を読み取ることができます。(B問題)
- ・古典の文章の読み取りに優れ、特に歴史的仮名遣いなどの古文の特徴をきちんと理解しています。(A問題)

△課題となるところ

- ・登場人物の言動などの意味を考えながら文章の内容を捉える力が不十分です。(B問題)
- ・漢字を正しく読むことは概ねできていますが、文脈に即して正しく書くことが一部できていないところがあります。(A問題)



◇これからの取り組み

- ・様々な場面で言語活動を多く取り入れ、「話す・聞く・書く」力をさらに伸ばしていきます。
- ・文章表現に基づいて登場人物の人物像や思いを読み取る活動を通して、より深く内容を捉える力をつけていきます。
- ・より実践的な漢字指導を行うとともに、定期的に漢字テストを実施し、漢字を正しく書く力と語彙力をつけていきます。

数学

	A問題		B問題	
	県	国	県	国
全体	◎	◎	◎	◎
数と式	◎	◎	◎	◎
図形	◎	◎	◎	◎
関数	◎	◎	◎	◎
資料の活用	◎	◎	◎	◎

(表の見方)
A問題…知識に関する問題
B問題…活用に関する問題

県や全国と比較し、本校の平均正答率が

- ◎…高い(2%≦◎)
- …少し高い(1%≦●<2%)
- …ほぼ同じ(-1%<○<1%)
- △…少し低い(-2%<△≦-1%)
- ×…低い(×≦-2%)

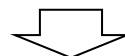


○よかったところ

- ・無解答率が低く、数学に対する学習意欲の高さが伺えます。(A・B問題)
- ・絶対値や一次関数の意味など数学用語についての基本的な知識が身につけています。(A問題)
- ・数量の大小関係を不等式に表すことができます。(A問題)
- ・与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができます。(B問題)

△課題となるところ

- ・関係を表す式を、目的に応じて変形することが不十分です。(A問題)
- ・与えられた計算方法の意図を読み取り、数学的な表現を用いて説明することが不十分です。(B問題)



◇これからの取り組み

- ・計算テストへの取り組みが、基本的技能の定着と学習意欲の喚起に成果をあげているので、継続して実施していきます。
- ・知識・理解の更なる定着のために、具体的操作活動を取り入れた学習を増やしていきます。
- ・振り返って考えたり、順序立てて説明したりする力を伸ばすために、班で話し合ったり、発表したりする機会を増やしていきます。

理科

	県	国
全体	◎	◎
主に知識	◎	◎
主に活用	◎	◎

県や全国と比較し、本校の平均正答率が
 ◎…高い(2%≦◎)
 ●…少し高い(1%≦●<2%)
 ○…ほぼ同じ(-1%<○<1%)
 △…少し低い(-2%<△≦-1%)
 ×…低い(×≦-2%)

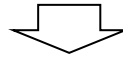


○よかったところ

- ・無解答率が低く、理科に対する学習意欲の高さが伺えます。
- ・基本的な知識がよく身につけています。
- ・実験結果をもとに現象について考察することができています。

△課題となるところ

- ・知識に関する問題と活用に関する問題を比べると、活用の方が全国平均・県平均との差が小さくなっています。
- ・質量パーセント濃度の計算が正確に解けていません。

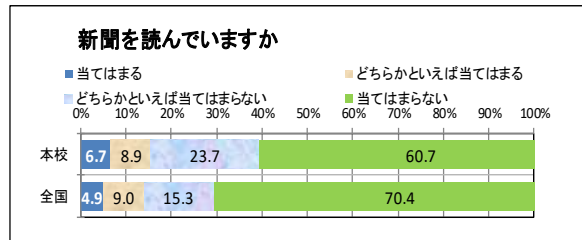
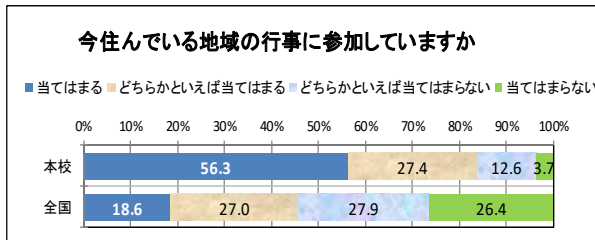
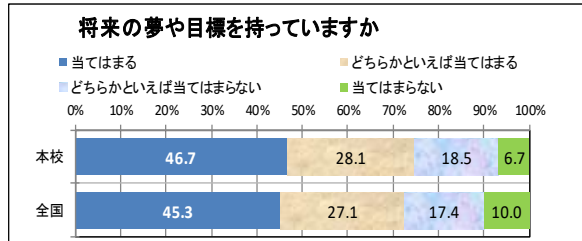
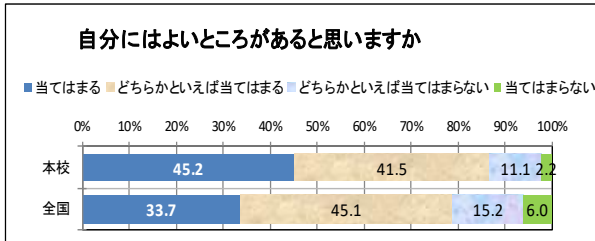
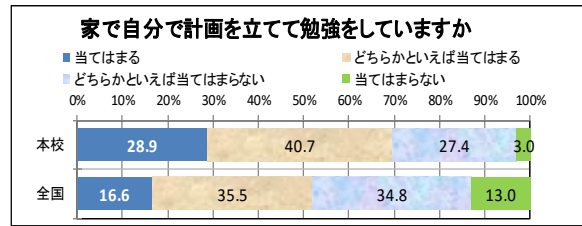
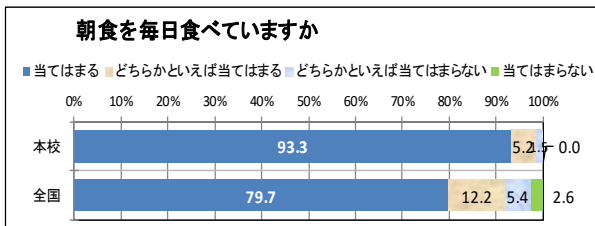


◇これからの取り組み

- ・小テストなどの知識を身につけるための方策に継続して取り組みます。
- ・活用力を身につけるために、実験後の考察の際に、話し合いを行ったり、発表する機会を多く取り入れたりする機会を増やしていきます。

【生徒質問紙から】

生活質問紙からわかる坂中生の様子を紹介します。ご家庭でお子さんとの話題にしてください。



◇調査からわかる生徒像◇

- ・朝食を食べて学校に登校する生徒が多い。
(食べない生徒は0%)
- ・規則正しい生活を過ごしている生徒が多い。
- ・家で計画を立てて勉強している生徒は全国に比べて多いが、勉強時間は全国並みである。(1日平均2時間程度)
- ・自分を肯定的に捉えている生徒が多い。
- ・将来の夢や目標を持っている生徒の割合は全国並みである。
- ・地域の行事に積極的に参加している生徒が非常に多い。
- ・新聞を読む生徒が、全国と同様に非常に少ない。

○調査結果より

本校の生徒は高い自己肯定感を持っており、周囲の大人からも認められていると実感しています。また、規範意識が高く、規律正しい生活を送っています。一方で、将来の夢や目標を持っている生徒の割合がそれほど高くはなく、今後さらにキャリア教育を充実させていく必要性を感じます。

学習にまじめに取り組み、宿題もほぼ確実に提出しています。塾に通っている生徒は全国に比べると少なく、家で教科書を使いながら予習・復習をしている生徒が多いようです。新聞を読む生徒が少ないので、授業等でも教材に取り入れていきたいと思えます。

地域の行事に積極的に参加する生徒が多く、地域の方々のつながりの強さが見られます。